



日本の若者を語れるときまで

福島県教育委員会教育長 高城 俊 春

汝の国の青年を語れ、しからば汝の国の
将来をトせん

これは、ギリシアの哲学者アリストテレスの言葉である。「トす」というのは「占う」の意であり、青年がその国の将来を担うのであるから、青年たちを見ればその国の将来が想像できる、ということであろう。つまり、その国が将来栄えるか否かは、その国の若者たち如何にかかっているということである。

それでは、歴史的に大きな節目の年であった西暦2000年も残り僅かとなり、いよいよ21世紀が秒読みの段階に入った現在、新世紀の日本の担い手となるべき若者たちは何を考え、将来にどのような夢や希望を持っているのであろうか。

今、手許には、「将来の夢がない日本の生徒」という見出しの資料（1999年5月18日付発行「内外教育」）がある。これは日本青少年研究所（千石保理事長）と一ツ橋文芸教育振興会（若菜正理事長）が、韓国・中国・米国・日本の中・高校生を対象に実施した「二十一世紀の夢に関する調査」をまとめた報告書である。他国の若者たちが、新世紀に対してどのような夢を持っているのか、ということの一端を、日本の若者たちとの対比で窺うことができ、興味深いものがある。その一部を抜粋し、以下に紹介していくことにする。

(1) 21世紀の社会について～「そう思うか」(高校生)

	〈韓国〉	〈中国〉	〈米国〉	〈日本〉
・がんなどの難病に打ち勝っている	80%	90%	85%	77%
・科学の進歩で人類は幸福になる	56%	84%	68%	35%
・国民生活は今より豊かになる	65%	85%	78%	29%
・今より世界は平和になる	43%	70%	35%	36%
・希望のある社会になる	63%	89%	64%	35%

※これを見ると、日本の高校生は「人類はより幸福に」「国民生活は豊かに」「希望ある社会に」等は、他の3か国に比して際立って低く、全体として、21世紀の社会に対する希望の見解は低くなっている。

(2) 人生の目標について～「そう思うか」(中学生)

	〈韓国〉	〈中国〉	〈米国〉	〈日本〉
・スポーツや芸術の分野で名声を得る	21%	18%	40%	20%
・素敵な異性を見つける	30%	43%	79%	39%
・科学の分野で新しい発見をする	19%	34%	22%	9%
・他人がまねできない特技を持つ	34%	28%	63%	35%
・勉強のよくできる人間になる	27%	56%	81%	16%
・自分が損をしても正しいことをする	22%	36%	49%	21%
・その日その日を楽しく暮らす	25%	64%	77%	61%
・自立した人間になる	30%	78%	43%	44%
・自分の趣味をエンジョイする	55%	63%	68%	55%
・有名人となる	19%	20%	39%	18%
・社会のために貢献する	20%	60%	47%	16%
・平凡だが円満な家庭を築く	28%	63%	72%	51%
・お金持ちになる	18%	28%	56%	25%
・高い社会的地位に立つ	11%	35%	62%	11%

※数字は、中学生の「とてもそう思う」という回答の割合で、高校生の回答もほぼこれと同